



# MS341-48001・MS341-48002 フロントスポイラー

## 取付・取扱要領書

この度はハリアー用TRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
本書は上記TRDフロントスポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

### ■品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS341-48001-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	ハリアー 全適応 '13.12～
MS341-48001-C0	ブラック (202)	
MS341-48002-00	未塗装品 (プライマー処理品)	

### ■構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	Jナット		7	
③	タッピングスクリュー		7	5×16
④	型紙		1	
⑤	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS341-48002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

No.	品名	品番	個数	備考
⑥	エンブレム		1	
⑦	モール		(各1)	黒/グレー L=1500mm
⑧	PACプライマー		1	K-500






以下、MS341-48002-00 (未塗装品セット) のみに同梱




## ■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

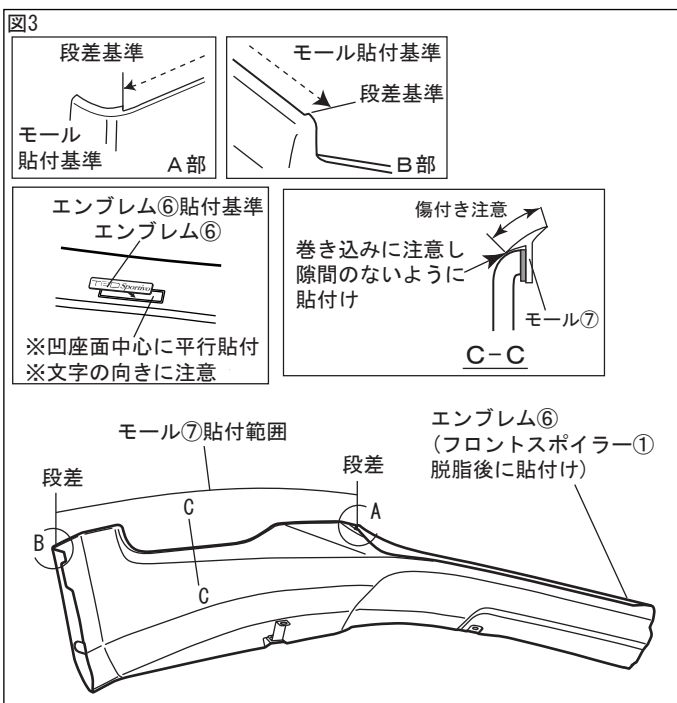
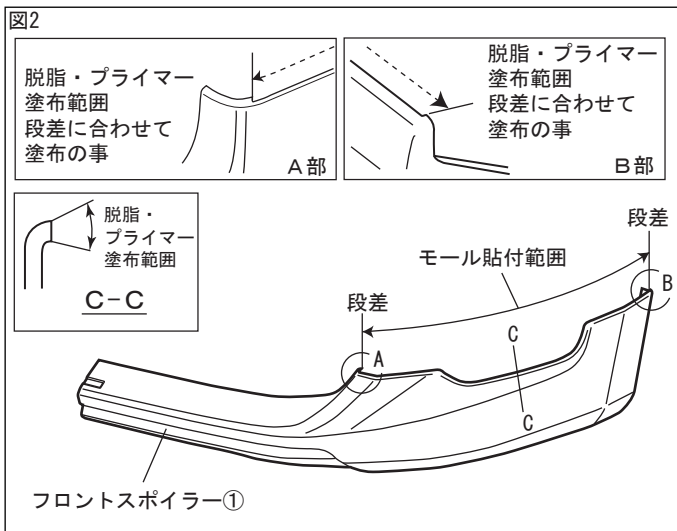
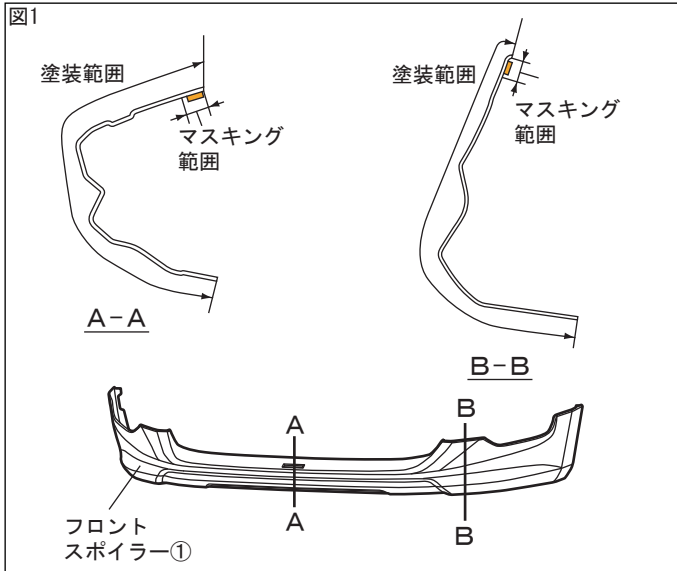
 <b>警告</b>	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 <b>注意</b>	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 <b>アドバイス</b>	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

**確認** 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **確認** 本商品は過去に事故歴のない車、事故歴があっても正常に修復された車には確実に装着出来ます。
-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを充分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット (MS341-48002-00) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両部品の取外しに際し、タッピングスクリューの紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのフロントスポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。  
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。  
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

## ■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-48002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



### □フロントスポイラーの塗装

- 図1のようにフロントスポイラー①を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。  
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モールド貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。  
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

### □モールドの貼付け

- 図2のようにモールド貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑧を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

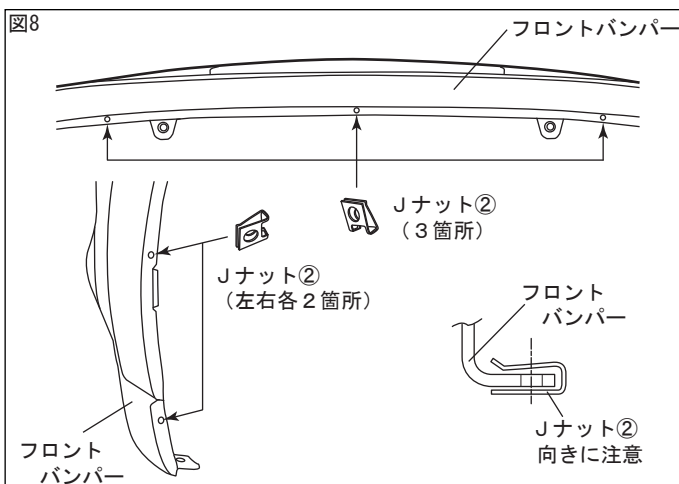
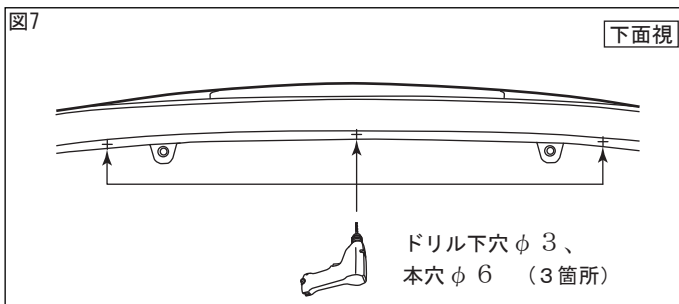
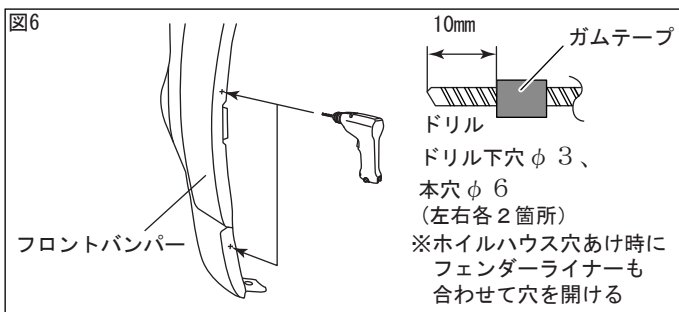
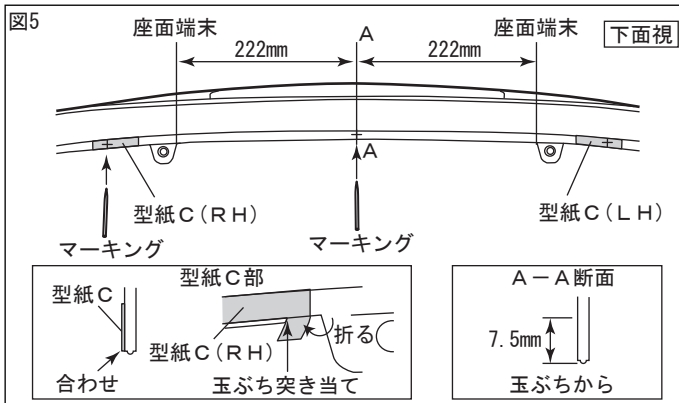
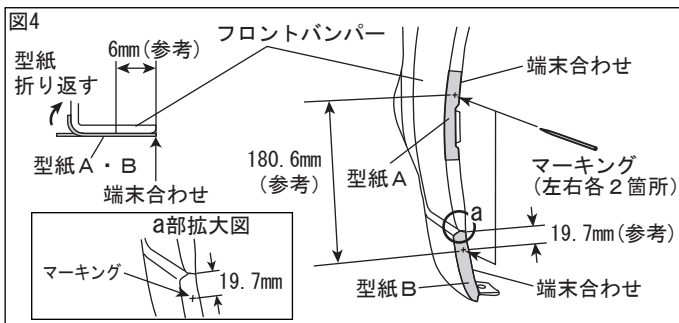
🔧 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

- 図3のようにフロントスポイラー①に、モールド⑦の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け {49N (5kgf) 以上} 圧着する。  
モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モールド⑦は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モールド色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

- 図3のように脱脂した座面にエンブレム⑥を貼付ける。



## □取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

1. 型紙④から型紙A・Bを切り取り、図4のようにフロントバンパーのホイールハウス部に合わせてマーキングする。  
(左右各2箇所)
2. 型紙④から型紙Cを切り取り、図5のようにフロントバンパーの下面部に合わせてマーキングする。  
(左右各1箇所)
3. 図5のように、フロントバンパー座面の末端から222mmの場所で中心線を出し、玉ぶちから7.5mmの位置でマーキングします。  
(1箇所)

4. 図6のようにφ3、φ6のドリルの先端にストッパーになるようゴムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してホイールハウスのマーキング位置に下穴をあける。  
(左右各2箇所)
5. 図6のように下穴にφ6のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(左右各2箇所)
6. 図7のように、φ3のドリルを使用してフロントバンパー下面部のマーキング位置に下穴をあける。  
(3箇所)
7. 図7のように下穴にφ6のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(3箇所)

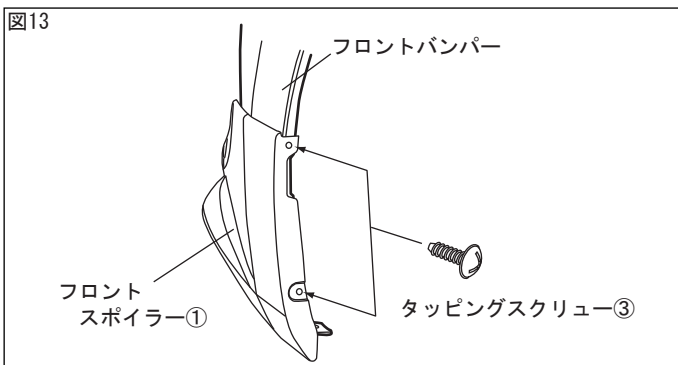
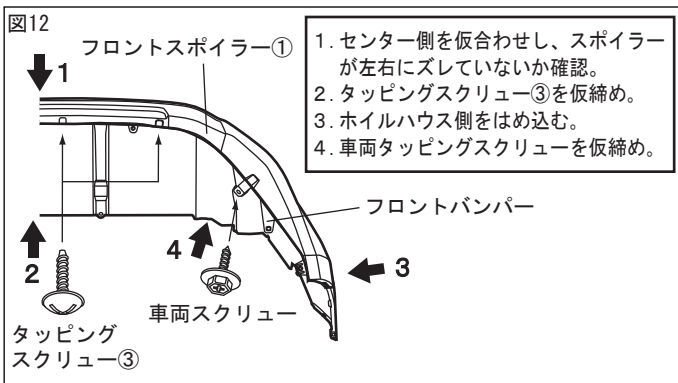
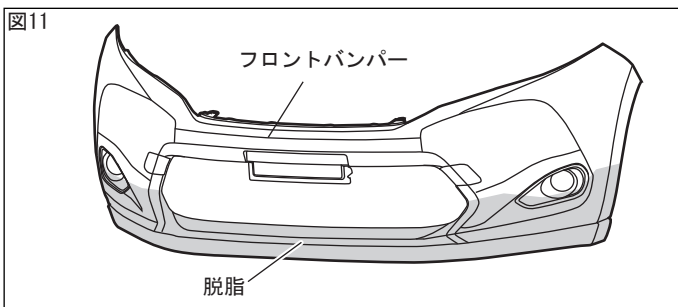
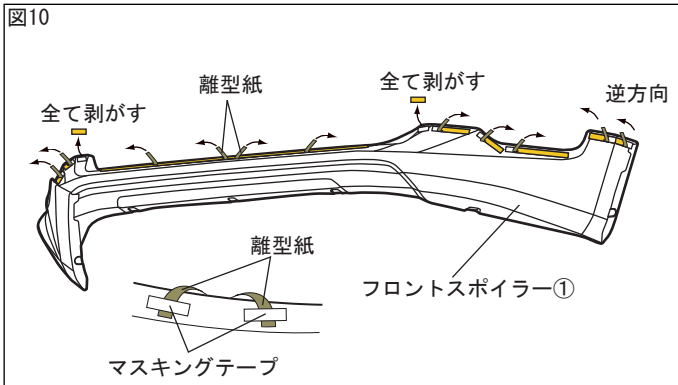
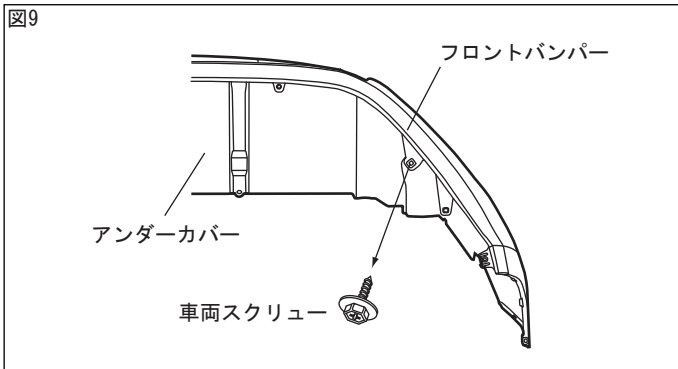
👉 **アドバイス**：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ **注意**：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ **注意**：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

8. 図8のようにフロントバンパーのホイールハウスと下面の穴あけした部分にJナット②を差し込む。  
(合計7箇所)

⚠ **注意**：図8のようにJナット②の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリー③が取付かなくなります。



9. 図9のようにフロントバンパー下面を固定している車両スクリュー(左右各1箇所)を取外す。

△注意：取外した車両タッピングスクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

10. フロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、図10のようにホイールハウス側以外を中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(10箇所)

11. ホイルハウス側を外側から内側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(4箇所)

12. 両面テープの離型紙が30mmに満たない部分の離型紙を全て剥がします。(2箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

13. 図11のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂する。

△警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

#### □取付要領

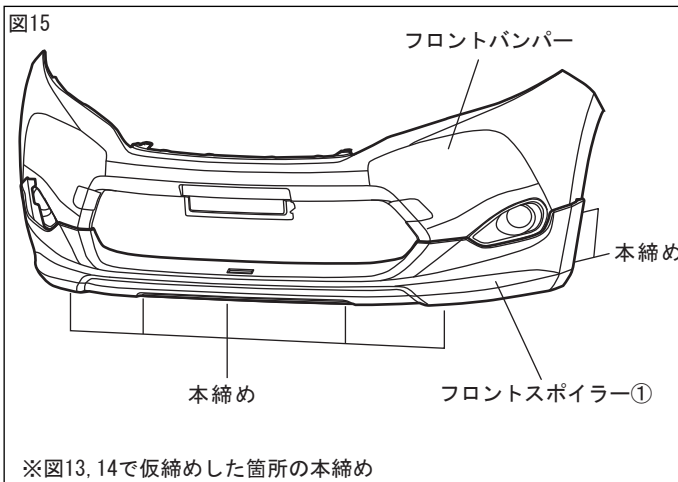
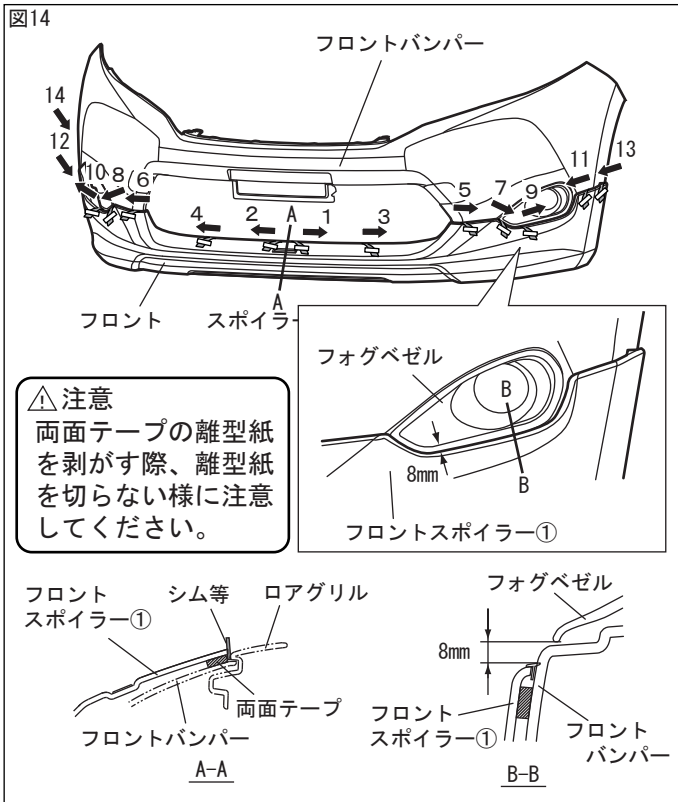
※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

1. 図12のようにフロントスポイラー①をフロントバンパーにかぶせ、車両スクリュー(左右各1箇所)とタッピングスクリュー③(中央3箇所)を仮締めする。

△注意：フロントスポイラーをバンパーに被せる際はホイールハウス側が被せにくいいため、図12の手順で被せてください。

2. 図13のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、ホイールハウス部をタッピングスクリュー③で仮締めする。(左右各2箇所)





### ■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

3. 図14の断面図を参考にフロントスポイラー①センターとロアグリルの間に厚さ1mmのシム等を挟み、フォグライトの下のベゼルとフロントスポイラーとの高さを8mmに合わせて、左右のズレ、隙が無いを確認し、両面テープの離型紙(14箇所)を左図番号順に矢印の向きに剥がしながら貼付け、確実に圧着する。  
{49N(5kgf)以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

👉アドバイス：厚さ1mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約1mmのワッシャー等で代用してください。

△注意：センター部の両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：図10で離型紙を全て剥がした箇所の圧着も忘れないよう注意してください。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

4. 仮締めしておいた下面の車両タッピングスクリュー(左右各1箇所)とタッピングスクリュー③(中央3箇所)を本締めする。
5. 仮締めしておいたホイールハウスのタッピングスクリュー③(左右各2箇所)を本締めする。